

# 錦江町立大原小学校閉校記念事業趣意書

謹啓、皆様方には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。かねてより大原小学校の教育振興には深い御理解と多大な御協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、明治二十年三月に児童数二十名の大原簡易小学校がスタートし、明治二十七年に田代尋常小学校大原分校へ、大正四年三月に大原尋常小学校、昭和十六年に大原尋常高等小学校から大原国民学校、昭和二十二年に大原国民学校から大原小学校、同年に内之牧分教場設立、昭和三十三年に内之牧分教場閉校、昭和三十六年田代村立大原小学校、昭和三十六年に田代町立大原小学校、平成十七年に錦江町立大原小学校に改称、二八四五人の卒業生を送り出してきましたが、令和七年三月三十一日をもって、百三十八年の歴史をもつ大原小学校が閉校となり、田代小学校へ再編統合することとなりました。

この百三十八年間に幾多の変遷を遂げ、諸先輩方の御協力によって教育環境が整備され、現在の姿に発展しました。本校は、創立当初から校区民が一体となり、大原地区みんなの学校という思いに満ちた学校であります。

このように着実に歴史と伝統を積み上げ、同窓生諸兄が母校と郷土の榮譽を担って社会の各方面で活躍されていることは誠に心強い限りです。現在、全校児童七名、教職員八名で百三十八年間の歴史を閉じるにふさわしく「子供たちに『自信』と『誇り』を」をスローガンに一丸となつて努めているところです。

そこで、閉校の年に当たり、母校の有終の美を願い、PTA、同窓生、また、地域住民の御理解のもと記念事業を推進することになりました。

記念事業推進に当たり、必要経費として、記念事業百万円、記念誌制作二百五十万円、記念碑五十万円、渉外二十万円と、総額四百二十万程度の高額になるのではと考えております。

つきましては、出費多端の折誠に恐縮と存じますが、この趣旨に御賛同くださいまして御芳志、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

な、記念誌については、実費販売とさせていただきますが、御芳志五千円以上を賜ることができました方々には、贈呈とさせていただきます。

末筆ながら皆様の御繁栄御多幸をお祈り申し上げます。

## 記念事業の概要

### 一 閉校式並びに閉校記念式典

① 閉校式典 令和七年二月八日(土)

② 閉校記念式典 令和七年二月八日(土) ※ 式典終了後

### 二 記念事業

① 記念行事

・ 閉校記念校区合同運動会 令和六年九月二十二日(日)

・ 閉校記念学習発表会オータムフェスティバル 令和六年十一月二十四日(日) 等

② 記念誌の発行

③ 記念碑の建立

④ その他

### 三 募金活動期間

◎ 令和六年七月一日 ～ 十二月三十一日

### 四 募金振込先

◎ ゆうちよ銀行「130周年事業実行委員会」 記号：17800 番号：33122361

令和六年七月吉日

## 錦江町立大原小学校閉校記念事業実行委員会

委員 長	石原 健二	総務部委員	白山 貞盛
副委員 長	山元 利美	同	山元 大志
同	野口 信之	同	田尻 健太
総務部委員	川前 伸二	顧問	久保田昭二(大原小学校長)
記念行事部長	坂口 操	記念誌部長	渡辺 寛之
記念碑部長	有里 毅司		